



# LS研究委員会

## LS研 研究分科会

研究分科会は「人材育成・人脈形成」「研究成果の実務への適用」「会員企業の課題・問題解決」を目的に Give & Takeの精神で1年間共同研究する場です。1年の成果は会員企業のIT活用にご利用いただく他、積極的に対外発表しています。

2011年度の分科会メンバー募集を以下のテーマで行います。多数のお申し込みをお待ちしています。

過去の研究成果は⇒ <http://jp.fujitsu.com/family/lsk/en/activity/work-group/> 過去の活動内容



### 2011年度研究分科会 〈4月から翌年3月まで1年間、原則月1回実施〉

分野	No.	テーマ名	分野	No.	テーマ名
IT戦略 人材育成	1	IT資産の最適化と評価手法	技術 技法	12	クラウドインフラ構築技術の研究
	2	クラウド時代におけるITガバナンスの方向性		13	クラウド環境における大規模データへの対応
	3	企業のグローバル事業展開を支えるIT部門の対応		14	クラウド環境でのネットワーク運用設計のあり方
	4	事業戦略に貢献できるICTの活用		15	クラウド環境におけるBCPのあり方
	5	全社情報システム構想立案ができるIT人材育成方法		16	統合コミュニケーションのあり方と業務への適用
技術 技法	6	BPMによる業務プロセスの可視化と活用方法	管理 運用	17	クラウド環境でのセキュリティの捉え方
	7	事業戦略や高度なシステム要件と連携した企画プロセスの進め方		18	クラウド環境におけるマルチベンダ構成での運用管理
	8	上流工程におけるテスト計画策定方法		19	クラウド時代における運用・保守のあり方
	9	システム構造に基づく効果的なテストシナリオの作り方		20	効率的な運用保守体制のあり方
	10	OSSの活用とリスク管理のあり方		21	アプリケーション障害復旧スピードアップのための施策・体制のあり方
	11	クラウドアプリケーション開発技法の研究		22	システムメンテナンス時のレベルダウン防止策



### 2011年度短期分科会 〈5月から11月まで半年間、原則月1回実施〉

短期分科会は情報共有や意見交換に重点を置いた調査・検討活動を6カ月という短期間で行います。詳細は2月頃に送付するご案内をご覧ください。

過去の活動成果は⇒ <http://jp.fujitsu.com/family/lsk/en/activity/s-work-group/> 過去の活動内容

#### 2010年度短期分科会報告

短期分科会はタイムリーで実践的なテーマに対して情報共有や意見交換に重点を置き、調査・検討活動を6カ月という短期間で行います。

1年間の研究分科会と同様に富士通グループよりコーディネーターが参加し、活動をサポートします。

2010年度は右記の3テーマで5月に活動を開始し、年内にはほぼ終了しました。活動成果を2月頃に会員サイトに掲載します。

#### 2010年度短期分科会 活動テーマ

- IFRS (国際財務報告基準) の導入に伴う問題点・課題の検証
- IT活用による環境負荷軽減への貢献
- プロジェクトに有効なPMOのあり方

## LS研対外発表

### 2009年度分科会が“ProMAC2010 in 東京ベイ”で発表!

LS研は分科会研究成果を広く社会に役立てるため、1年間の活動終了後に国内外の学会や各種団体の場で発表しています。

2010年10月13日、プロジェクトマネジメント学会第5回PM学会主催国際会議、略して“ProMAC2010 in東京ベイ”が千葉の幕張メッセで開催されました。その大会に2009年度のLeading-edge System研究最優秀賞を受賞した「プロジェクトマネージャーの実践力の育成方法」が参加し、発表しました。

国際大会のため論文も発表資料もすべて英語という異例の大会でした。

LS研の報告書提出とほぼ同時期の3月頃に応募を決め、8ページに渡る英文の論文を提出し、論文審査に合格して8月に発表枠が確定しました。不合格だと発表はできません。

参加メンバーとアドバイザーの全面的なご協力のもと、分科会リーダーで発表者の第一生命情報システム(株)久保寺 義一氏は相当量の練習をされて当日に臨みました。その甲斐あって当日は緊張感ゼロで発表できたそうです。おつかれさまでした!

当分科会は2010年9月28日の東海支部セミナー<sup>※</sup>と10月28日の秋季大会でも発表しました。

<sup>※</sup>東海支部セミナーでは「クラウドコンピューティング適用」分科会も発表しました。

論文審査に合格し発表まで参加した証明書です



▲左から参加メンバーの片山氏、リーダーの久保寺氏、テクニカルアドバイザーの斉藤氏と木野氏



▲発表者の久保寺氏

## マネジメントサロン東京合同

### 旭化成(株) 延岡支社視察

〈開催日:2010年10月22日〉

マネジメントサロンはシステム部門の部門長クラスの方が基本的に毎月1回アフターファイブに集まり、業種・業界の最新動向や企画・情報システム部門のあり方などについて自由に討議・意見交換する場です。

2010年度は4月から東京2グループ・関西1グループで開催しています。通常は会議室での実施ですが、年に2回ほど見学会を実施しています。

このほど参加メンバーのAJS(株)様のご厚意により、東京の2グループ合同開催として、旭化成(株)延岡支社を視察させていただきました。

#### ■データセンター

旭化成ネットワークス(株)中山社長のご説明により、最新設備で現也在拡張中のデータセンターを見学しました。元々自然災害リスクの低い土地である上に、さらに免震床など万全の対策がとられています。サーバールームの他、非常用発電設備や、冷気を床下から通す空調の仕組みなどを見学しました。

#### ■旭化成エヌエスエネルギー延岡発電所

2006年に始動した最新式の発電所で、石炭の他に樹皮、間伐材や木屑等を加工したバイオチップ、バイオペレット等の木質バイオマスを利用して電気を作っています。巨大なタービンの近くを歩く場所では隣りの人の会話も聞こえないほどの轟音と熱を感じました。



▲データセンターのご説明



▲展示センター見学の様子

左記の他、長い歴史を誇る旭化成グループの多角的な事業経営を見ることができる展示センターを見学し、地域に根ざした企業のあり方を学ぶことができました。

# 情報化調査 LS研 IT白書

LS研会員企業における  
IT活用の現状と今後

## LS研IT白書

LS研IT白書は、LS研究委員会の会員企業におけるIT活用の現状と今後を把握することを目的に、調査した報告書です。

なお、LS研IT白書は、Give & Takeの精神に則り、調査にご協力いただいた会員の方みに提供しております。

◆2010年度版は、158会員の方々にご回答いただき12月に発行しました。概要をWebサイトに掲載していますので参照ください。

URL: <http://jp.fujitsu.com/family/lksen/>

今回のIT白書では、会員企業の情報システム部門の今後の方向性を捉えるために、特に情報システム部門の役割変化に対する意識、および求められる機能について調査いたしました。

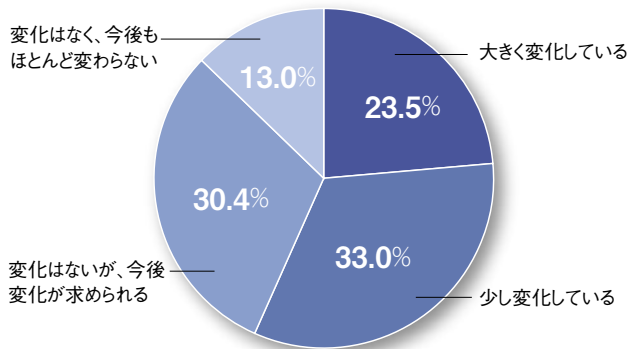
### ■情報システム部門の役割変化 (図表1)

- ・情報システム部門の役割については、**変化している、あるいは変化が求められる**という割合が、**87%**と大半を占める。
- ・昨年度と比較しても、**変化している、あるいは変化が求められる**という割合が増加しており、**役割変化の波はさらに大きくなっている**と捉えられる。

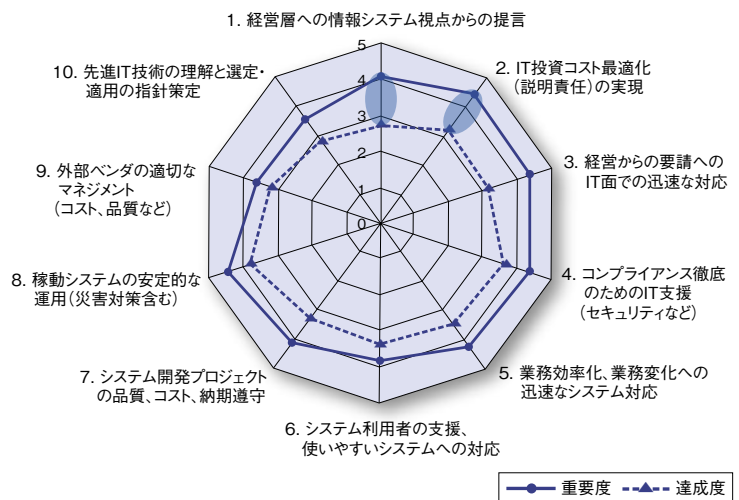
### ■情報システム部門の役割と機能 (図表2) (重要度と達成度)

- ・情報システム部門の役割として最も重要視されている項目は、「IT投資コスト最適化(説明責任)の実現」、「経営からの要請へのIT面での迅速な対応」、次いで「コンプライアンス徹底のためのIT支援」、「稼働システムの安定的な運用(災害対策含む)」である。
- ・「システム利用者の支援、使いやすいシステムへの対応」や「外部ベンダの適切なマネジメント」など従来から情報システム部門に求められている役割・機能に対する達成度は高い。一方で、「経営層への情報システム視点からの提言」や「IT投資コスト最適化(説明責任)の実現」など重要度と達成度に差がある役割についてはシステム部門として新しい役割に対応しきれていないことが伺える(グラフ内●部)。

図表1 情報システム部門の直近3年間の役割変化に対する認識 (有効回答:115会員)



図表2 情報システム部門の役割と機能に対する重要度と達成度の認識 (有効回答:100会員)



今後の情報システム部門は、従来のビジネスインフラとしてITシステムを構築、運用していくという役割に加え、IT投資状況を把握し、かつ、経営的な視点で評価し最適化を進めていく役割が求められています。

2010年度IT白書では、このような情報システム部門の役割変化をIT戦略機能への役割変化と仮説設定し、IT戦略策定人材とITコスト評価の2つの観点から調査しております。





## LS研セミナー

〈年3回実施〉

### ～企業を強くするIT人“財”育成に向けて～

LS研では、情報システムの企画/構築/運用やITによる業務改革などについて情報交流を行う「LS研セミナー」を実施しております。従来、先進技術に関するテーマを取り上げてまいりましたが、それらの議論の中で必ずテーマとして挙がるのは「組織の役割」であり「人」です。今、求められているのは先進技術の適用もさることながら次世代を見据えた情報システムの役割、及びそれを支える「人材」の強化といえます。

そこで従来の“技術”から“人”に焦点を変え、11月10日に2010年度第2回として、「企業を強くするIT人“財”育成に向けて」をテーマに3講演を行いました。当日は、71社119名と多数の方にご参加いただき、人“財”育成に対する関心の高さが伺えました。

#### ■発表

- 「岐路に立つIT人材 ～変革期こそ飛躍のチャンス」  
講師 (独) 情報処理推進機構 柴崎 美奈子 氏
- 「ユーザー企業におけるIT人材育成への取り組み」  
講師 (株)みずほ銀行 渡部 薫 氏
- 「新人は熱いうちに打て!～将来JXグループのITを支える若手の育成～」  
講師 JX日鉱日石インフォテクノ(株) 松本 隆二 氏



▲LS研セミナー風景

#### ■ご参加者の声

- 基調講演、実事例とバランスよく、豊富な調査からあるべき人材のイメージについて明確になった。
- 3年目までの若手SEを集中してしっかり育てることが企業にとって重要であることを再認識した。



## ジョイントフォーラム

〈年1回実施〉

### ～富士通のクラウド戦略を問う～

ジョイントフォーラムは会員と富士通グループが会員の抱えている夢の実現に向けて討議する場です。次世代ITの方向性に関わるキーワードテクノロジーやビジネス戦略についてLS研会員の部門長の方々と富士通グループのSEおよび製品・サービス開発部門の責任者が、直接意見を交換します。

クローズドセッションで富士通グループの未発表情報も含めた製品やビジネスの方向性を情報提供します。

2010年度は10月7日に「情報システム部門のサービス化に向けたクラウドの実践」と題して実施しました。

富士通からクラウドへの取組みを発表し、クラウドの実践、IT部門の役割の変化・拡大、利用部門との関係をどう変えていくかについて意見交換を行いました。



コーディネーターを務めた、トヨタ自動車(株)の大島氏(左)と富士通(株)の大森氏

#### ■会員のコメント

- ユーザーとプロバイダという立場と業界を超えてクラウドという共通のテーマについて議論し、問題の本質が見えた。
- クラウドへの手探り感がまだまだある現状だが、先進的な取組み事例やクラウドの元となる環境整備の考え方が分かり参考になった。
- これからますます多くの事例が出てくると思うので、ユーザー企業に鮮度の高い内容を提供していただきたい。
- 今後のユーザー企業のIT部門の役割について考えるきっかけとなった。

#### ■富士通のコメント

- お客様のプレゼンの体系的なお話がありやすかった。
- 富士通のクラウドの進め方、研究の方向性に役立った。